



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：カケハシ・イノウエ第1陣（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から大学生50名が2019年2月19日～2月26日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：50名

（内訳）

グループA(25名)：ワシントンアンドリー大学(バージニア州)

グループB(25名)：マイアミデードカレッジ（フロリダ州）

【訪問地】

東京都（全員），石川県（グループA），熊本県（グループB）

2. 日程

	グループA	グループB
2/19(火)	来日	
2/20(水)	【オリエンテーション】	
	【日本理解講義】横浜国立大学 長谷川健治准教授	
	【視察】浅草，江戸東京博物館	【視察】 杉並アニメーションミュージアム
2/21(木)	東京都から石川県へ移動	東京都から熊本県へ移動
	【学校交流】金沢大学	【表敬訪問】熊本県庁
	【歴史的建造物】東茶屋街	【歴史的建造物】熊本城
2/22(金)	【歴史的建造物】金沢城，兼六園	【学校交流】熊本大学
	【文化体験】和菓子作り	【ホームステイ対面式】
	【ホームステイ対面式】	
2/23(土)	【ホームステイ】	

2/24(日)	【ホームステイ歓送会】 【ワークショップ（報告会準備）】	
2/25(月)	石川県から東京都へ移動	熊本県から東京都へ移動
	【成果報告会】 【交流】米日カウンスル	
2/26(火)	【視察】明治神宮・原宿 離日	

3. プログラム記録写真

全グループ（東京都）



2/20 【日本理解講義】横浜国立大学
長谷川健治准教授



2/25 【成果報告会】

グループA（石川県）



2/21 【学校交流】金沢大学



2/22 【文化体験】和菓子作り

グループB（熊本県）

	
2/21【歴史的建造物】熊本城	2/24【ホームステイ歓送会】

4. 参加者の感想（抜粋）

グループA（訪問地：石川県）

◆ 米国，学生

外務省に招いていただき光栄でした。日本理解講義で日本の歴史と文化を総合的に紹介していただきましたが、この知識はプログラムの開始時に得ることができ大変役立ちました。また、金沢大学の日本人学生との出会いには本当に感謝しています。自分がとても歓迎されていると感じることができましたし、金沢大学の学生は、こちらの質問にも沢山答えてくれました。歴史的な場所の訪問とは全く異なり、ホームステイによって日本の家庭の日常生活を見ることができ、アメリカと日本の文化は結構似ていることが多いな、とも感じました。ホームステイと観光的視察の組み合わせによって、日本人の文化的背景や日常生活を垣間見ることができました。

◆ 米国，学生

「カケハシ・プロジェクト」に参加するまで日本については何も知らなかったもので、外務省での日本の歴史についての講義はとてもためになりました。学校交流や生け花もとても良かったです。日本人学生とずっと長い時間を過ごすことができたならよかったのにとおもいましたが。ホームステイでは、家族と絆が芽生えました。小さな子供が3人いて、子供の頃の私の家を思い出しました。皆、温かく歓迎してくれました。いわゆる「観光地」と呼ばれる場所や庭園、神社、昔ながらの地区を散策するのも大変楽しかったです。日本は長い歴史を持っていますが、アメリカはそうではありません。何世紀にもわたる文化と歴史を持つこの場所にいることを満喫しました。日本で一番好きなのは、どこにでも自然が溶け込んでいるところです。あらゆる歩道に沿って美しい鉢植えの花や木々が見られました。アメリカでもそんな風にできたらなあ、と思いました。

グループB（訪問地：熊本県）

◆ 米国，学生

現在の日本の政治情勢や他に類を見ない歴史あるいは地理についての知識を講義で学ぶことが出来ました。これらは、来日前には、知らなかった事柄でした。学生との交流では、同世代であるということ以外に、日本の学生も母国の文化以外の文化も見たいという、生まれながらの好奇心を持っていることが分かり、共感しました。様々な知識についても話してくれましたが、それだけでなく、友達になることができました。熊本県庁では、熊本についての知っておくべき情報を下さり、日本の文化について発信するというゴールを達成するために一番大切なプログラムでした。また、いつか日本で活躍する日のためにも重要な情報を頂きました。

◆ 米国，学生

プログラムの中で一番印象的なのはホームステイでした。カケハシで来日して、一番心配していたのが、ホームステイでした。それが、一番自分に影響を与えるものになるとは。私の「じじ」さまと「ばば」さまは、一番素敵な人で、日本の生活について教えてくれた一番素晴らしい先生です。ばばさまは、様々な野菜やお肉を入れたあったかいお鍋のスープを作ってくれました。とてもおいしかったです。その後、みんなで家族のように温泉に行きました。彼らは私の祖父母のようで、その夜、自分の亡くなった祖父母を思い出して泣けてきました。どれほど感謝をしているかを表現できませんが、さよならを言う時、そして、もう行かなければならない、という時に、悲しくなりました。しかし、私は、彼らに、そして、私たちが一緒に植樹した木に会いに来ます。日本にまた戻って来て、じじさまとばばさまに再会するつもりです。

5. 受入れ側の感想

◆ ホストファミリー（グループA）（抜粋）

英語だけでコミュニケーションを取るのは少し難しいと心配していましたが、二人ペアで滞在してくれたので良かったと思います。元気で若い学生さんで興味、好奇心も旺盛で、私たち家族はみな金沢にしながら外国を旅行しているような気分でした。ありがとうございました。高校生と中学生の子供にとっても貴重な経験でした。

◆ ホストファミリー（グループB）（抜粋）

アメリカの大学生の受け入れは、二度目ですが、今回も良かったです。2泊3日の滞在で2日目に植樹をしたのは、良い経験だったと思います。何年後かに彼らが大きくなった木を見に来てくれたら嬉しいですね。初めての温泉、日本の田園、どれもよい思い出になりますように。カケハシの言葉が交流会、最後のバスに乗るときの別れに集約されて感動を覚えました。

6. 参加者の対外発信

 boinJapan Kanazawa has been full of amazing and authentic experiences that definitely have shaped my love for Japan. We took the bullet train from Tokyo to Kanazawa which was supposed to have been the last...	 Washington and Lee University Japanese Program 日本語 February 25 at 10:13 AM Toilet in the Bullet Train - everything so clean and clearly marked! #kakehashi18 #usjc
(グループ A) 金沢についての発信 (Instagram) 金沢では素敵な本物の日本文化をいっぱい体験することができて、いっそう日本を好きになったことを実感。東京から金沢までは新幹線で行き、すごくよかったです。新幹線での旅は最高。	(グループ A) トイレについての発信 (Facebook) 新幹線のトイレです。とっても綺麗ですし、すべてわかりやすく表示されています。
 Mauricio Ferrazza 19 hrs Students at Miami Dade College traveled to Japan as part of the 2019 Kakehashi Program, an eight day cultural exchange between Japan and the USA. Students were exposed to the Japanese culture in a broad way, learning how to make sushi, the traditional tea ceremony, dressing in kimonos, zen meditation, meeting with Japanese students and a two day home stay with Japanese families. #kakehashi2019 #Jice #japan #usa #mdc	 Mauricio Ferrazza 20 hrs Students from Miami Dade College visit Kumamoto University as part of the #kakehashi2019 program. #Jice #usa #japan #mdc
(グループ B) カケハシ・プロジェクトについての発信 (Facebook) 様々な日本の文化を満喫。寿司の作り方を教えてもらい、着物を着させてもらい、伝統的な茶道や座禅をしました。日本の学生とも会えましたし、二日間の日本の家にホームステイもしました。	(グループ B) 学校交流についての発信 (Facebook) マイアミデッドカレッジの学生はカケハシ・プロジェクトで熊本大学に行きました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

Goals for Plans of Actions Washington and Lee Mission: Washington and Lee University provides a liberal arts education that develops students' capacity to think freely, critically, and humanely and to conduct themselves with honor, integrity, and civility. Graduates will be prepared for life-long learning, personal achievement, responsible leadership, service to others, and engaged citizenship in a global and diverse society. • Share our experiences on campus • To share our experiences to friends and family • To dispel American-held myths about Japan • To strengthen ties between America and Japan	Long term • Setting club up for future student generations • Transfer universities receive Kakehashi Alumni • JET Program • Internships with/in Japan • MDC Massive College, influence spread quickly • Sponsors to help Kakehashi Alumni • TOMO-CHAN! Mascot for Kakehashi Inouye
アクション・プランの発表（グループ A） 我々の大学憲章（Washington and Lee Mission）に基づいて今回の訪日で得た知識・発見を主として大学構内で発信、また個人的に友人・家族らと共有していくことで多くの人々に浸透させていく。その際、日本に関する間違ったイメージを払拭していくことにも傾注したい。こういった活動を通じて米日の結束を強固にしていくことを目指す。 個人での継続した SNS やブログ発信はもちろん、2019 年内に大学で開催される会議やイベント、ラジオ番組や雑誌・新聞など多様な媒体を活用して積極的に対外発信にコミットしていく。毎週キャンパスで金曜日の夜に開催される“Friday Night Underground Program”にカケハシ・プロジェクト派遣プログラムで（2019 年 3 月に）渡米してくる金沢大学生と一緒に参加するのも名案であろうし、2020 年には近隣の高校を訪問してレクチャーを行うなど効果的な方法を模索していく。	アクション・プランの発表（グループ B） ・ SNS 発信 ・ 日本について、日本への宣伝 ・ カリキュラム、リーダーシップ ー 日本語を教える ・ 大学での発表 ・ ビデオ制作 ・ イベントでの発表 ・ 日本クラブの発足 帰国後すぐに取り掛かりたい。一般の人々、出身高校へ出かけて行って日本の魅力を発表する。校内や家族友達への発信をする。 ・ 未来のマイアミデードカレッジの学生のために日本クラブを実施 ・ カケハシ参加者を受け入れてくれるような大学に進学 ・ JET プログラムで日本に来日 ・ インターンシップ ・ マイアミデードカレッジはアメリカでも最大級の学校であるので、受信する学生数は多く、迅速に広く日本のことを知らせることが可能である。 ・ カケハシの参加者をサポートしてくれるスポンサーを探して自分達と日本の関係を継続 ・ 訪問先である熊本のマスコット「くまもん」のように、カケハシイノウエのマスコット TOMOCHAN を制作 2 年制の大学であるが、卒業後も発信を続けることが出来るシステムである日本クラブを設立したい。

